

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北海道)		*	*
		商店街（代表者）	・9月は台風の影響などによる特別な状態であることから、3か月先はほぼ例年どおり推移するとみられる。現状を考慮すると景気はやや良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・これから気温の低下とともに、冬物衣料、防寒衣料への関心が高まり、購買行動が活発になってくる。また、地元球団やサッカーチームが健闘していることもプラスとなる。
		衣料品専門店（経営者）	・秋から年末にかけて、冬物や新春に向けての商戦が始まるため、今後についてはやや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・新商材の発表が続くため、その効果に期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・10～12月と新型車効果が出てくることを期待している。
		自動車備品販売店（店長）	・前年の10月は冬物商材の販売が前倒しされ、販売量が伸びたが、今年は現在の冬物商材の販売遅れから10～11月にかけて販売量が回復してくる。
		旅行代理店（従業員）	・旅行の申込が間際ではなくなってきている。
		タクシー運転手	・これから冬季を迎えて繁忙期となることから、このまま景気の良い状態で推移する。
		通信会社（企画担当）	・家電量販店を中心に契約目標の上方修正が行われているため、今後については売上の改善が見込まれる。
		観光名所（従業員）	・北海道新幹線の開業効果が着実に観光客の入込増加につながっており、この効果は季節が一巡する来春まで継続する。
		住宅販売会社（経営者）	・観光産業が良くなることで、個人消費や建設関連もじわじわと景気が良くなることが見込まれる。
		商店街（代表者）	・景気は現状のまま推移するとみられるが、客の気分としては先行きが良くなるという方向で考えているようだ。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ここ半年ほど、月によって多少のばらつきはあるが、基調は大きく変動していない。2～3か月後に特別景気が上向くような材料もないため、現在の状況がもう少し続く。
		百貨店（売場主任）	・気温が高めに推移しているため、秋物の動きはまだ鈍いが、雑貨アイテムは前年を上回っている。また、秋に改装したブランドのスタートが良かったことから、今後への期待も高く、売上の下げ止まり感も強い。
		百貨店（担当者）	・特段、改善の兆しを感じられない。
		百貨店（営業販促担当）	・台風の影響で農家や関連企業の景気がしばらく停滞する。また、衣料品の定価品販売の減少が春から引き続きみられているため、今後も変わらない。
		スーパー（店長）	・青果物の価格高騰はまだ続くと思われるため、台風の影響が尾を引く。また、衣料品や住居関連も新規購入の割合が低くなるとみられる。
		スーパー（店長）	・景気が変動するような要因が見当たらない。
		スーパー（役員）	・4～5か月前と比べると、8月は景気がやや上向いているようにみえていたが、9月に入り客単価がやや落ちてきていることが気付きである。年金の支給月ではなかったことが影響した可能性もあるが、所得減少が影響していることが懸念される。ただ、10月からは最低賃金もアップするため、上向いてくることを期待している。
	コンビニ（エリア担当）	・さっぽろオータムフェストなどのイベントでの消費が年々増加する一方で、毎日の食料品消費は生活防衛の意識が高く、消費マインドは弱い。また、北海道の景気をみても良くなる要素がない。	
	コンビニ（エリア担当）	・景気が良くなる理由も悪くなる理由も明確なものが何もないため、このまま変わらない。	
	衣料品専門店（店長）	・来客数も売上も前年を下回って推移しているため、今後も変わらない。	
	衣料品専門店（店長）	・スーツの需要が落ち込んでおり、ジャケットなどのほかのアイテムでカバーできない状況となってきているため、今後も変わらない。	
	家電量販店（経営者）	・特に景気が上向きになるような材料がない。冬物商材である暖房器具の動き次第である。	
	家電量販店（店員）	・台風被害からの復興はまだ感じられない。季節らしい気温の変化がみられることで、暖房機の売上が伸びることを期待している。	
	乗用車販売店（経営者）	・9月の新車販売は自社の販売台数及び当地区の新車市場とも、依然として前年の水準を上回って推移しており、この傾向は今後も続くと思われる。	

乗用車販売店（従業員）	・これからというところで台風の影響により農作物に大きな被害が出たうえに、鉄道、道路が寸断され、物流、観光に打撃を与えており、明るい材料が全くない。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・景気の底は脱したように見えるが、今後も大きな変化はなく推移する。周りの景気にあまり影響されない業種でもあり、好景気の影響もあまり受けない。
高級レストラン（経営者）	・今年は台風の影響で農家が大打撃を受けたことから、その影響で関連企業の景気が悪くなっており、来年以降も影響が続くとみられる。北海道全体に悪影響を及ぼしているため、今後も厳しいまま変わらない。
高級レストラン（スタッフ）	・8月の台風の影響で取引先の生産者から特定の野菜が手に入らなくなったり、市場価格が上がってきているなど、当分、原価高が見込まれるため、多少の売上アップがあったとしても、景気が上向くとまではいえない。
旅行代理店（従業員）	・鉄道や国道の開通のめどが立たず、農家の収穫についても先行きが見えないなか、客が旅行を計画するという機運にならないことが見込まれる。どうにか需要喚起を図るために各種施策を今後展開していく予定ではあるが、景気は変わらないまま推移する。
タクシー運転手	・例年、10～11月はタクシーの利用客が減る時期である。今年は観光客が増えているが、タクシーの利用は前年並みに推移するとみられる。
タクシー運転手	・道東の観光関係の予約が数件取消しになったが、全体的には前年並みの予約状況となっており、今後についてはあまり変わらないまま推移する。
通信会社（社員）	・新材の販売に関しては一時的なブームでもあり、今後すぐに収束に向かう傾向がある。また、9月の販売量が伸びているのは、新材の供給がハイペースであったことによるものであり、来月、再来月の分の需要を先食いしてしまっていることが懸念されるため、今後の大きな伸長は見込めない。
観光名所（職員）	・人件費や物価の上昇がみられる一方で、消費拡大につながるような金の動きが依然として鈍いなど、景気が上向く気配が感じられない。
美容室（経営者）	・ここ数か月、売上が前年とほぼ変わらない状況が継続しているため、今後も数か月は同じような状況が続く。
美容室（経営者）	・台風の被害は近郊でも多少みられたが、当店の営業にそれほど大きく響く様子はないことから、今後の景気が悪くなることはない。ただ、景気が良くなるような要素もほとんど見当たらない。
商店街（代表者）	・高額新材の売上が奮わない。また、外国人観光客の買上単価、買上点数ともに下がっていることから、今後についてはやや悪くなる。
商店街（代表者）	・北海道の台風被害が大きく報道されたためか、10月以降のホテル予約が低迷している。被害地域は一部だが、世界地図からみれば、日本は点のような存在であり、北海道全域が危ないと誤解されているようだ。東日本大震災の時もそうだったが、観光のためには災害発生後に安全宣言をきちんと発信する習慣を、国や自治体が率先して行うような仕組みが必要である。
商店街（代表者）	・雪の降る季節となるため、今後についてはやや悪くなる。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・年末にかけて円高が進行することになれば、外国人観光客が減ることが見込まれるため、あまり良くない状況になる。
百貨店（販売促進担当）	・9月は価格訴求を行った低価格新材、企画催事への顧客反応が良く、店舗の集客増がみられたが、継続的な需要増加につながるような力強さが感じられなかったため、一過性の現象に終わることが懸念される。
スーパー（店長）	・OPECの原油生産調整合意の影響により、これから冬に向かって灯油やガソリンの値上げが見込まれ、家計に大きな影響を及ぼす懸念があるなど、先行きへの見通しは暗い。
スーパー（店長）	・最近の客の動向をみると低価格新材の動きが良かったため、今後の売上についてはやや悪くなる。
スーパー（企画担当）	・台風の影響で、今後の青果物の価格上昇が見込まれており、それだけでなく消費動向が停滞気味のなかで、価格に対する消費者の反応が一層厳しくなることが懸念される。
スーパー（役員）	・街全体の景気を観光客の増加で下支えしているなか、これから冬場に向かうことで観光客増加の動きが鈍るため、景気はやや悪くなる。
コンビニ（エリア担当）	・台風被害があったことで、特に道東方面からの来客数が鈍化しているため、今後についてはやや悪くなる。

	コンビニ（オーナー）	・ 9月20日からおせちの予約がスタートしたが、すでに13,000円以下の少量低価格の商材が予約完売となった。前年よりも早い予約完売となった状況からも景気の後退が感じられる。
	乗用車販売店（従業員）	・ 北海道は10～12月と徐々に景気が下向いてくるなど、書き入れ時は10月にかけてということになるため、今後の景気が良くなることは考えられない。
	その他専門店 [ 造花 ]（店長）	・ 道内における景気対策に不十分な面があるため、今後についてはやや悪くなる。
	観光型ホテル（スタッフ）	・ 団体旅行の予約が低調である。スポーツ大会、大型コンサートの開催に伴う利用もあるが、減少分を補てんできていない。プロ野球のクライマックスシリーズ、日本シリーズも結果次第の面があるため、効果は不透明である。
	旅行代理店（従業員）	・ 台風による農業被害が深刻なため、農業関連の旅行需要が減退することになる。また、消費マインドも節約に振れることが見込まれる。
	旅行代理店（従業員）	・ 札幌と当地を結ぶ特急の運休が11月まで続くため、札幌行きのパック商品の販売ができないことから、今後についてはやや悪くなる。また、台風の影響を受けて、旅行へ行く余裕がなくなった層がいることも見込まれる。
	タクシー運転手	・ 都会と地方で景気の回復感に温度差がありすぎる。特に中小企業においては、まだまだ厳しい状況がこの先も続く。
	パチンコ店（役員）	・ 台風による1次産業の被害が大きすぎる。今回の被害により離農する農家もいるようである。生産者側も大変だが、消費者にとっては生産物の供給不足に伴う単価上昇が大きなダメージとなることを見込まれる。
	美容室（経営者）	・ 例年、シーズンの売上はあまり良くない時期となるため、今後についてはやや悪くなる。
	その他サービスの動向を把握できる者 [ フェリー ]（従業員）	・ 例年、この時期に観光客の輸送量が減少するため、今後についてはやや悪くなる。
	住宅販売会社（経営者）	・ 最近、中国人投資家による不動産売買が売り越しとなっており、マンション価格が下がり始める予兆がある。
	× 商店街（代表者）	・ オフシーズンのため、今後についてはやや悪くなる。
	× 百貨店（役員）	・ 来客数及び買上客数が低下傾向にあり、そうした傾向が続いていることから、今後についてはやや悪くなる。
	× コンビニ（エリア担当）	・ 現状の漁獲量が厳しいことで、漁師だけでなく、運送関連や加工場などにも影響が広がることになる。収入が増えないため、結果的に使う金額も今後減少することを見込まれる。
	× 高級レストラン（スタッフ）	・ 台風による土砂災害により、農作物被害が生じているほか、交通網の分断で物流コストのみならず物流そのものが悪化しているため、今後についてはやや悪くなる。
	× 観光型ホテル（役員）	・ 今後も円高が続くと予想されることに加えて、台風による風評被害も大きいいため、先々の予約数が伸びてこない状況にある。
	× タクシー運転手	・ 台風の影響で地域産業は壊滅的な状況にあり、秋の観光客の入込も期待できないため、今後については悪くなる。
企業動向関連 (北海道)	-	-
	建設業（従業員）	・ 農業関連工事が増加していることに加えて、今後、災害対策工事の発注増加も見込まれる。民間建築工事も引き続き堅調に推移している。
	輸送業（支店長）	・ 補正予算の執行による公共工事、台風被害の復旧土木工事が行われることで、これらの工事向けの資材輸送が増えることになる。
	その他サービス業 [ 建設機械リース ]（営業担当）	・ 台風被害の復旧工事が1～2年続くことを見込まれる。
	その他非製造業 [ 鋼材卸売 ]（役員）	・ 客先の仕事量が確保されており、それに伴い当社の販売量が伸びることに期待が持てる。
	食品製造業（従業員）	・ 2～3か月先の景気は特に今と変わらないとみられるが、台風の被害を受けた農作物の収量減により、自社原料の調達に影響が出ることが懸念される。
	家具製造業（経営者）	・ 東京オリンピックに向けて、様々な面で需要が伸びることが見込まれるが、一方で円高や災害などのマイナス要素も大きいため、今後の景気の好転は期待しにくい。
	建設業（従業員）	・ 新規発注建築工事が少なくなり、建築労務量も飽和状態であるなど、業務を拡大できない状況にあるため、今後については変わらないまま推移する。
	通信業（営業担当）	・ 現況の景況感を受注量、案件件数、単価などからやや良い状況にあるが、更なる上昇のためには起爆剤が必要であるため、現況では良い意味での横ばいで推移する。

	金融業（従業員）	・大型経済対策や台風被害に対する災害復旧工事が本格化する ことで、今後は公共工事が道内景気をけん引することになる。 一方で、台風被害に伴う悪影響が幅広い業種に波及し、 道内景気を下押しすることも見込まれる。総じてみれば、先 行きの道内景気は現状程度で推移することになる。
	司法書士	・今後の景気回復次第の面があるが、多少は上向き傾向にな る。ただ、これから冬期間に入ることを考慮すると大きな変 動はないまま推移する。
	コピーサービス業（従 業員）	・現状、客先の考え方が蓄えにシフトしていることから、今 後も慎重な姿勢がしばらく続くことになる。また、今回の台 風被害にて計画外の出費がある企業が想像以上にあった。
	その他サービス業〔建 設機械リース〕（支店 長）	・天候不順や台風の影響で当地区の基幹産業である農業が大 きな被害を受けており、あらゆる産業に影響を及ぼすことが 見込まれる。その反面、災害復旧に伴う特需も見込めるが、 未知数な部分も多い。
	食料品製造業（従業 員）	・佐賀県のペと病によるたまねぎの不作と、台風の影響によ る北海道のたまねぎの不作が、3か月後の原材料高騰につな がらないか心配である。
	建設業（経営者）	・公共工事の発注が一巡し、手持ち工事が減ってくることに なる。民間工事も横ばいか減少気味で推移することになる。 補正予算及び災害復旧予算の動きとその発注時期が今後の大 きなポイントとなる。
	司法書士	・大型店舗の閉鎖により雇用の消失、求人倍率の低下が予想 されるため、今後ますます景気は悪くなる。
	司法書士	・政策の言葉だけでは消費が上向いてこない。年収が増える など、目にみえる景気対策が不可欠であるが、期待薄であ る。
	その他サービス業〔建 設機械レンタル〕（総 務担当）	・台風被害の影響が生じているため、今後についてはやや悪 くなる。
	x	-
雇用 関連 (北海道)	人材派遣会社（社員）	・店舗の開設、キャンペーンなどの販促活動の増加が見込ま れるため、当面は今のやや良い状況が続くことになる。企業 業績も横ばいで推移することが見込まれ、求人及び派遣ニ ーズは現状を維持することになる。
	求人情報誌製作会社 （編集者）	・個人消費関連の求人件数が若干増加するなど、明るい兆し がみえ始めている。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率が1.08倍と15か月連続で1.0倍超えの高水準 が続いているため、今後についてはやや良くなる。
	求人情報誌製作会社 （編集者）	・台風と長雨の影響はあるものの、地域基幹産業である農業 のベースは底堅いとみられるため、長期的には景気は回復す る。
	求人情報誌製作会社 （編集者）	・求人数は過去2年間の実績を下回っているが、個別の業種 ごとにみると前年と同じような動きをしており、目立った変 化はみられないため、今後も変わらない。
	職業安定所（職員）	・新規求人数を前年と比べると、ここ数か月の全体の減少幅 は2～3％程度の小幅で推移しているが、正社員以外の求人 が増加傾向で推移しているのに対して、正社員の求人は1割 を超えて減少した月もあるなど、求人が正社員から正社員以 外に移行している傾向がうかがえる。特に社会福祉の専門 職、事務的職業において、こうした傾向が強くみられる。一 方で、飲食物、調理の職業、接客給仕の職業、販売の職業で はパート求人が減少し、正社員求人が増加するなど、業務や 職業間のばらつきもみられる。大きな求人増加に関するよう な話題もないことから、今後もこうした傾向がしばらく続 く。
	職業安定所（職員）	・当市以外の管内の事業所を訪問しても、北海道新幹線の開 業効果などはあまり感じないという事業所が多かったため、 今後も雇用動向は変わらない。
	学校〔大学〕（就職担 当）	・12月ごろまでは現状と比べて大きな変化はみられないまま 推移する。
	求人情報誌製作会社 （編集者）	・人口減少及び高齢化率の進展による消費低迷が続いている ことから、今後の雇用環境はやや悪くなる。
	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・9月は特定の要因が重なったことで募集広告売上が上振れ したと捉えており、2～3か月後にはこれまでの下降基調に 戻ることが見込まれる。
	職業安定所（職員）	・管内の百貨店閉店に伴い、9月以降、求職者の大幅な増加 が見込まれる。希望条件での就職実現を目指す求職者のなか には、求職活動が長期にわたることも見込まれるため、雇用 情勢の悪化が懸念される。

